

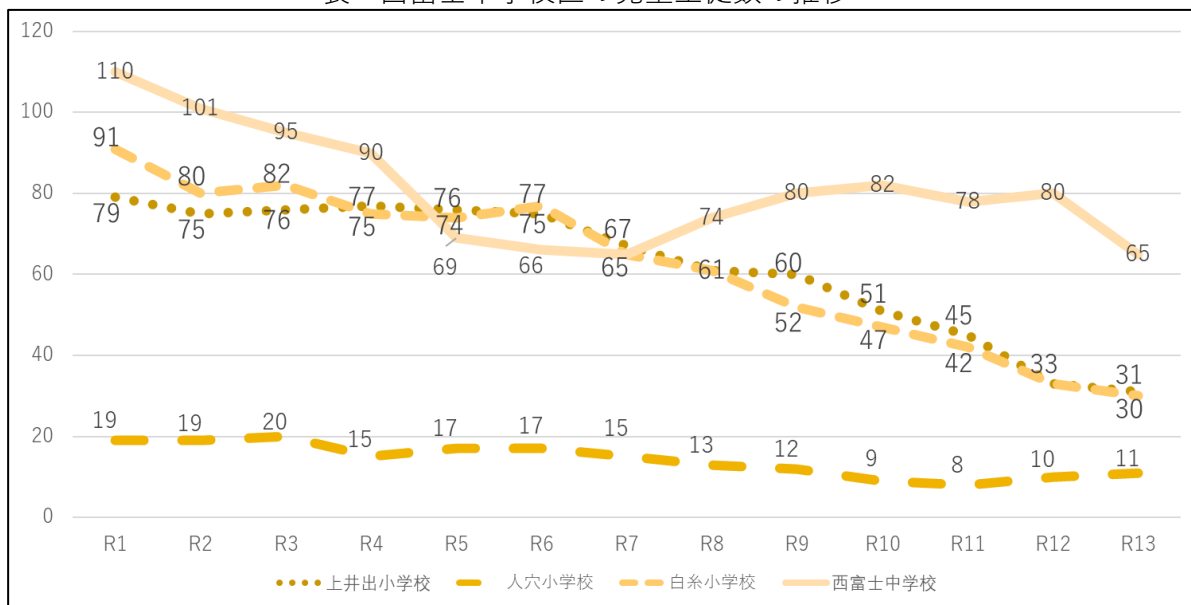
白糸小学校

こども協議会だより

学校の再編の背景

少子化による児童生徒数の減少に伴い、富士宮市では令和6年4月に「富士宮市立学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」を定め、複式学級が存在する学校等の再編を進めています。白糸小学校では令和7年5月1日現在の全校児童数が65人で、今後の推計では、令和9年度に複式学級ができる見込みです。

表 西富士中学校区の児童生徒数の推移



こどもたちの未来を考える協議会を設置

このような状況を踏まえ、白糸小学校の児童の保護者や白糸地区にお住まいの方々との意見交換会を経て、白糸小学校の再編の方向性について話し合う「白糸小学校のこどもたちの未来を考える協議会（こども協議会）」を設置しました。

2月18日に第1回のこども協議会を開催

白糸小学校の保護者や白糸地区在住の未就学児の保護者、区長、白糸地区在住の市議会議員計16人を委員として、第1回のこども協議会を令和8年2月18日に開催しました。

会長・副会長を選出

教育委員会から、会長を狩宿区長の遠藤様、副会長を保護者の代表である田村様として提案し、委員の皆様にご承認いただきました。

教育委員会からの提案

教育委員会では、これまでの意見交換会における皆様の意見を踏まえ、西富士中学校区の小学校を1校に集約する案を提案しました。

委員からの意見

これに対して、委員からは次のような意見が出されました。

- ・西富士中学校区の一つに集約することは、以前上井出中と白糸中と一緒にあって西富士中になった経緯があるので、それが望ましいと思う。問題は、統合してもその数年後にはまた統合になるようなことは起こり得ないのかということ。
- ・こども目線で考えていきたい。
- ・方向性としては統合で良いと思う。複式学級を避けてもらいたい。
- ・上井出のこども協議会の議事録を次回以降提供していただきたい。
- ・統合して人数が多くなった方が、こどもにとって逃げ場が作れると思う。
- ・人数が少ないとどうしても競争心が生まれにくくなると思う。
- ・あるべき姿を考えるとより広域の統合を考えた方が良いと思うが、直近の数字を見ると西富士中学校区で統合するのが良いと思う。
- ・スピード感をもってやらないといけない。

協議会に関するQ&A

Q 1 この協議会で何が話し合われるの？

A 1 白糸小学校の再編の方向性や再編に関して必要なことについて話し合って結論を出していただきます。

Q 2 今後はどのようなスケジュールで進むの？

A 2 およそ2か月に1回の間隔で協議会を開催し、半年から1年をかけて教育委員会に提出する意見書の内容を決定します。

【次回の開催日程・会場】

- ・日時：5月下旬以降の午後7時から
(決定したら市HPでお知らせします。)
- ・会場：白糸会館
- ※ 当日の傍聴も受け付けています。

発行：富士宮市教育委員会教育総務課

住所：富士宮市弓沢町150番地（市役所6階）

電話：0544-22-1182

Mail：e-somu@city.fujinomiya.lg.jp